

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	あぼしりとうぶ 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あぼしりなんぶ 網走南部森林管理署
完了後経過年数	5年	管理主体	あぼしりなんぶ 網走南部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北東部に位置し、オホーツク総合振興局管内の東部、網走市を含む1市6町に所在する国有林約134千haを対象としている。</p> <p>本事業地は、森林の約6割が天然生の針広混交林で構成され、その多くが水源かん養保安林に指定されており、下流域の市町村の水源となっているほか、沿岸部での漁場環境の保全等の重要な役割を担っている。</p> <p>また、温泉、溪谷、湖沼、豊かな森林景観など豊富な観光資源にも恵まれ、知床国立公園など多くの自然公園にも指定されており、森林のふれあいの場としても期待されている。国有林の保護林制度で設定されている知床森林生態系保護地域については、その全域が世界自然遺産に登録されているなど、原始的な天然林及び生物多様性の保全などが期待されており、その近隣となる事業地においても適切な森林の管理経営が求められる地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待や要請に応えるとともに、水源涵養機能の発揮や地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容： 森林整備 更新 116 ha 保育 4,871 ha</p> <p>路網整備 開設 延長 3.2 Km</p> <p>・総事業費 1,592,160 千円</p>		
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総 便 益 (B) 31,898,906 千円（事業採択時： 10,040,594 千円）</p> <p>総 費 用 (C) 6,434,447 千円（事業採択時： 1,180,528 千円）</p> <p>分析結果 (B/C) 4.96 （事業採択時： 8.51 ）</p>		
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新・保育によって4,987haの森林が整備されたことにより、水源の涵養や国土の保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</li> <li>・開設によって3.2Kmの林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応したことで効率的な木材生産が図られた。</li> <li>・施業地まで自動車に対応できるようになり、効率的な森林管理の実施及び造林作業員の歩行時間の短縮や資材運搬等の経費の縮減が図られた。</li> <li>・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</li> </ul>		
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林の林況は、良好である。</li> <li>・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。</li> </ul>		
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。</li> <li>・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。</li> </ul>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>網走東部（網走南部署）地域では、平成17年7月に「知床」が新たに世界自然遺産として登録され、地域経済にとって観光業が更に重要な位置付けとなった。また、この地域は畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業が展開されるとともに、オホーツク海沿岸やサロマ湖を漁場としている漁業も地域経済の基盤となっている。これらの近隣で実施される森林の管理においては、より周辺環境に配慮することが必要となっている。</p> <p>また、林業においては、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進んだ地域でもあることから、林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により、更なる間伐等の推進も期待されている。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>あばしり</small> （網走市）</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の有する多面的機能の発揮を期待している。今後も、森林の有する多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。</p> <p><small>しやり</small> （斜里町）</p> <p>地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p><small>こしみず</small> （小清水町）</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものであり、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p><small>きよさと</small> （清里町）</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を依頼する。</p> <p><small>つべつ</small> （津別町）</p> <p>国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の機能が発揮されたと判断する。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性      本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性      費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性      本地域は、網走市をはじめ、産業の中心となる水産漁業、畑作酪農である農業、知床世界自然遺産を中心とした観光業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。 このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大きく、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

## 別紙様式7

整理番号4

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 網走南部森林管理署

事業実施地区名: 網走東部森林計画区(あばしりとうぶ)

(都道府県名: 北海道)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	6,440,862	
	流域貯水便益	1,360,610	
	水質浄化便益	2,992,911	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,959,422	
環境保全便益	炭素固定便益	4,047,198	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	56,165	
	木材利用増進便益	54,185	
	木材生産確保・増進便益	5,983,224	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,329	
総 便 益 (B)		31,898,906	
総 費 用 (C)		6,434,447	
費用便益比	B ÷ C =		4.96

# 28年度 完了後の事業評価 概要図

## 網走東部森林計画区的位置図

実施主体：網走南部森林管理署



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
森林管理署等	